

# ○ 守口市にぎわい交流施設整備基本計画（案） パブリックコメント 意見の内容及び本市の考え方

【募集期間】 令和5年1月25日（水） ～ 令和5年2月23日（木）

【募集方法】 広報もりぐち2月号及び市ホームページに募集概要を掲載し、メール、郵送、FAX、各公共施設に設置の応募箱への投函により受付

【件数】 10件 49項目

	項目	意見	本市の考え方
1	体育館	利用申込みの優先順位は？ 守口市民体育館から優先順位を引き続いていただく事 スポーツ協会の次年度体育館申請は同じ時期なのか？	・現体育館の利用実態も踏まえ、今後、新体育館の整備と合わせて、運営のあり方を検討します。
2	体育館	・全施設冷暖房の設置は？	・新体育館の事業者選定に向け、市としての要求水準書を作成する中で、詳細な設備面について検討しますが、現時点では、全館への空調設備の設置は必要と考えています。
3	体育館	・新体育館の利用料金も明確にしてほしい	・新体育館の整備と合わせて、利用料金も含め、運営のあり方を検討します。
4	体育館	・駐車場は何台駐車可能か？日曜祝日は大枝公園駐車場は満車の状況 駐車場の料金は？体育館使用団体もしくは個人の駐車料金の減免は有るのか？	・基本計画では、大枝公園の駐車状況も踏まえ、現体育館の駐車台数（16台）を上回る一定規模の駐車場（80～90台程度）を整備する予定としています。 ・料金設定は、大枝公園と同様、現時点では有料が原則と考えておりますが、詳細については、新体育館の整備と合わせて検討します。
5	体育館	・体育館の施設は守口市民体育館と同じなのか？ *大・小体育室・武道室・多目的室等	・基本計画では、可動式の間仕切り壁で区分でき、間仕切り壁を外して1つの大きなアリーナとしても利用できるメインとサブのアリーナに加え、武道室、多目的室（スタジオ）、フィットネスルーム等を予定しています。
6	体育館	・観覧席は何名収容可能か？	・基本計画では、固定席とフロア可動席を合わせ、約3,000席から最大で約5,000席を予定しています。
7	体育館	・会議室の収容人員は何名の広さか？ ・スポーツ連絡室のような部屋は有るのか？ ・スポーツ協会の備品の管理はどうするのか？	・今後、基本計画をベースとして、施設の規模や機能のより詳細な検討を進めます。
8	体育館	・トランポリンの資材搬入出来るスペースは有るのか？	・新体育館の事業者選定に向け、市としての要求水準書を作成する中で、詳細な規模等について検討しますが、基本計画では、1階フロアに搬入口を予定しています。
9	体育館	・プールの予定はないのか？	・基本計画では、設置の予定はありません。
10	体育館	・守口市駅（現体育館）から約900m離れるので、インフラ整備などは必要と感じました。	・基本計画では、現体育館の駐車台数（16台）を上回る一定規模の駐車場（80～90台程度）及び駐輪場を整備するとともに、京阪守口市駅等からのアクセス手法について、開館時までに検討を進めることとしています。
11	体育館	・守口市駅、土居駅、清水駅から歩いて約1kmなので、体育館に到着するまで、わくわくするような仕掛けがあると良いと思います。	・大枝公園と新体育館を合わせた新たな「スポーツ・レクリエーションゾーン」の賑わい創出や活性化につながるよう、頂戴したご意見も含め、さまざまな観点から市の魅力創造と発信に努めます。
12	体育館	・見る（観戦する）機会の創出を掲げられているので、公式戦としてホームゲームが実施できるスポーツチームが見つかると思います。	・ありがとうございます。貴重なご意見として承らせていただきます。
13	体育館	・公園を含めて民間事業者に管理運営を行わせるなら、高木・中木の管理は市にてお願いしたい。	・新体育館の事業者選定に向け、市としての要求水準書を作成する中で、管理運営形態について検討します。
14	体育館	・防災機能を充実するのがよい	・基本計画では、大災害時には市外から搬入される被災者支援物資の集配拠点とし、市の災害対策活動の中核拠点として機能させる予定としています。
15	体育館	・メインアリーナとサブアリーナの間仕切りをなくすと、プロスポーツの公式戦ができる広さになるということですか？似た事例を知らないのので、イメージが湧きませんでした。今後の資料で写真などを付けてほしいです。	・基本計画のP.15で、アリーナにおいて室内スポーツ競技を実施する場合のコートレイアウトの想定をお示ししています。今後、基本計画をベースとして、より詳細な検討を進める中で、よりわかりやすい資料の提示に努めます。
16	体育館	・指定管理料約5,200万円と想定していますが、維持管理運営費用及び利用料金収入の見込額を教えてください。また、整備費は約84億円弱という試算ということでしょうか。	・基本計画では、維持管理・運営期間を15年としたDBO方式の試算として、維持管理・運営費用は約16億円、利用料金収入は約7.8億円、整備費用は約83億円とお示ししています。

	項目	意見	本市の考え方
17	体育館	基本構想における「最適配置の基本方針」で示されている、市有地を活用した施設再配置の手順は、概ね合理的であり、運用しながら再配置を進めつつ、現在よりも利便性の高い機能を確保する施設計画とすることが可能になるものと考えます。但し、想定されている施設機能について、予定敷地に見合う規模になるよう今後の調整が必要になるものと推察します。	・今後、基本計画をベースとして、施設の規模や機能のより詳細な検討を進めます。
18	体育館	・可動間仕切りにより、利用シーンに応じた広さとする点については、非常に有益な検討であると考えます。	・ありがとうございます。貴重なご意見として承らせていただきます。
19	体育館	⑦環境に配慮した施設整備 ・実施に向けて、クリアすべき条件をしっかりと今後ご検討頂き、提示頂きたく存じます。	・新体育館の事業者選定に向け、市としての要求水準書を作成する中で、詳細な設備面について検討します。
20	体育館	・固定席とフロア可動席を併せて3,000席程度なら適切と考えますが、5,000席という設定は、敷地面積規模や費用対効果面から考えて過大ではないかと思料します。費用対効果の観点から考えた場合、一般利用がメインである事から、観客席の稼働は固定席1,500程度が妥当ではないでしょうか。興行利用が仮に10日程度／365日と想定すると、10日程度のために過大な施設を抱えることとなります。 但し、ホールの再整備と関連して、大規模興行は体育館で実施するという棲み分けが前提にある場合は、観点が異なるため一概に費用対効果の側面だけを以て判断することは出来ません。 本施設の位置づけについて、行政サイドの考え方をしっかりと確立された上で事業に臨まれますよう、希望します。	・新体育館の事業者選定に向け、市としての要求水準書を作成する中で、詳細な規模等について検討します。
21	体育館	・記載された費用の他に、発注者支援業務等、行政側の必要経費が発生すると思われれます。仮にPPP/PFI諸経費がこれに当たるとした場合は、事業者側におけるSPC維持費用が発生すると思われれます。 ・建設費については現段階での仮試算とお見受けします。実際の公募段階から事業者決定後、着工までにはかなりの時間を要しますので、適宜物価情勢に見合った予算措置をお願いしたいと考えます。 ・維持管理・運営費が非常に過小に設定されているようにお見受けします。コロナ以後、ウクライナ情勢、政府の賃金施策や労働環境法令の変更などにより、物価及びエネルギー価格、人件費が全く読めない状況となっております。ついては、下記の内容にご考慮頂きたく存じます。 ・水光熱費に関しては実費精算とするような対策を取って頂きたく存じます。(エネルギー価格は行政・事業者共にコントロールできません) ・指定管理費用について、年度毎に業務内容と価格を見直し頂き、人件費上昇分を想定した内容として頂きたく存じます。	・基本計画では、概算事業費としてお示ししており、今後、事業者選定に向けた公募の段階では、その時点に応じた物価情勢等も踏まえ、更なる事業費の精査を行います。
22	体育館	・VFMの観点からDBOが選定されておりますが、PFI方式で民間が資金調達をせずにSPCを設立し、契約窓口とするというパターンもございます。但し、SPCの維持経費が必要となります。 ・DBOの場合、設計・建設期間と維持管理・運営期間において主体関与と企業が異なりますし、維持管理・運営の契約は個別に行政側と締結しますので、責任区分として行政側の主体的且つ継続的な関与が必要になると思われれます。これを回避するために、維持管理・運営期間のみSPCを設立する方式もございます。但し、SPCの維持経費が必要となります。 ・VFMに関し述べた内容を事業スキームに反映すると、逆にDB+OまたはDB、従来型の方が有効ではないか、という考えもございます。これまでのデフレ情勢であれば、長期包括契約によるコスト縮減が公民共にメリットでございましたが、あまりに大きな変動を伴う情勢である事と、労働人口の自然減による人員確保問題や、人口減少と高齢化に伴う利用者の減少を見込むと、これまでの長期包括契約よりも、短期に区切った柔軟な施策対応の方がかえって小回りが効く状況ではないかと思料するものです。事業者として、長期包括契約のリスク回避意思が高まっているという状況はご理解頂きたく存じます。	・貴重なご意見として承らせていただきます。 なお、事業スキームについては、DBO方式により、市の財政負担の低減が見込まれるとともに、施設整備に係る設計及び建設時において、維持管理・運営事業者の意向や視点に配慮した効率的な整備が可能となるものと考えことから、基本計画では、DBO方式を採用する予定としています。
23	体育館	・事業スケジュールについて、現段階での想定スケジュールとお見受けします。現在、資材調達にかなり時間を要する状況です。設計・建設で約2.5年を見込んでおられますが、3年以上(設計1年+施工2年以上)かかるものと思われれます。今後の詳細検討にあたっては、ご考慮頂きたく存じます。	・貴重なご意見として承らせていただきます。 なお、事業スケジュールについては、基本計画では、令和7年度から約3年での設計及び建設を見込み、令和9年度末の新体育館竣工を予定しています。
24	体育館	体育館の移転については同様の機能を持つ施設が集まるため効率的であるしかし交通の便が中途半端にならないか懸念される。モビリティやバス等の交通手段の整備が必要と考えられます。また現在飲食等の店舗が少ないため、今後は増やしていただけることを期待します。	・基本計画では、京阪守口市駅等からのアクセス手法について、開館時までに検討を進めることとしています。

	項目	意見	本市の考え方
25	体育館	<p>使用年数（耐用年数）は何年ですか？ 60年～80年でしょうか。            自然災害が多発する時代の長期使用に耐えうる設計が最重要と考えます。            DBO方式には多くのメリットがありますが、維持管理コストや運営面のユニークさに引っ張られると設計が軽視されるおそれもあるのではないのでしょうか。また、15年間という長期の指定管理もメリットがある反面、事業者が経営不振に陥り、撤退するリスクも大きいのではないのでしょうか。DB方式とDBO方式とでは市負担額もVFMもそれほど差異はないことから、設計・建設を一括発注し、維持管理・運営は別に選考するDB方式がよいのではないかと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋コンクリート造の場合、法定耐用年数は47年となっており、長く、安心して利用できる施設を目指します。</li> <li>・事業スキームについては、基本計画でお示ししたとおり、DBO方式の採用により、市の財政負担の低減が見込まれるとともに、施設整備に係る設計及び建設時において、維持管理・運営事業者の意向や視点に配慮した効率的な整備が可能となるものと考えています。</li> </ul>
26	体育館	<p>P6. 現在体育館は市民利用が中心となっていると聞いています。大阪市内等に大きな体育館施設が存在しており、「観戦する」機会の創出まで広げると中途半端になることが危惧されます。収益は充分とれるのでしょうか？市の持ち出しはどのように考えられていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体育館は、市のスポーツ活動の活性化の中核拠点と位置づけ、幅広い世代の市民がスポーツを“する”と同時に、一流のスポーツを身近に“みる（観戦する）”ことによっても、身近にスポーツを楽しみ、親しむ機会を創出することができる施設とすることをコンセプトとする予定としています。現時点での概算事業費については、想定される一般財源を含め、基本計画のP.21にお示ししています。</li> </ul>
27	体育館	<p>P7. 体育館が駅から遠くなるというというのは、市民利用の観点からすると問題ではありませんか？            P13. 駅からのアクセスはどうお考えですか？シャトルバス等の検討はなされていますか？駐車場の最大利用は何台と考えられていますか？バスの駐車場の確保はできていますか？検討はされていると思いますが、作ってからではすぐに増やすことはすぐにできないように思いますが。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画では、現体育館の駐車台数（16台）を上回る一定規模の駐車場（80～90台程度）及び駐輪場を整備するとともに、京阪守口市駅等からのアクセス手法について、開館時までに検討を進めることとしています。</li> </ul>
28	体育館	<p>P10. P8.の図から考えると、馬場菊水線を東に向かって車で来ると、右折が必要です。現在右折レーンがないように思われます。渋滞が発生する可能性は十分あると思います。対策は必要ではないのでしょうか？更に、左折して駐車場に入る導線になってこでの渋滞も考えられます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画の策定にあたり、実施した交通量調査では、P.9～10でお示ししたとおり、新体育館の整備に伴う交通量の増加を要因とする周辺地域への影響は生じないものと予想されますが、今後、基本計画をベースとして、より詳細な検討を進める中で、周辺地域の交通状況への影響について、十分に配慮します。</li> </ul>
29	体育館	<p>3000～5000席の市民利用とうたわれていますが、採算は取れますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体育館は、市のスポーツ活動の活性化の中核拠点と位置づけ、幅広い世代の市民がスポーツを“する”と同時に、一流のスポーツを身近に“みる（観戦する）”ことによっても、身近にスポーツを楽しみ、親しむ機会を創出することができる施設とすることをコンセプトとする予定としています。現時点での概算事業費については、想定される施設利用料収入を含め、基本計画のP.21にお示ししています。</li> </ul>
30	体育館	<p>P21. 駐車場の設計費、建設費及び工事監理費が従来方式とDBO、DB及びBTO方式との差はどこから生じているのですか？維持管理・運営費についても同様です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DBO、DB及びBTO方式の場合、民間事業者の提案に基づき、設計及び建設されることから、個々の仕様発注に基づく従来型の設計、建設に比べ、費用が低減されることが想定されます。また、維持管理・運営費用についても、DBO及びBTO方式では、施設整備と一括して発注することで、設計及び建設時において、維持管理・運営事業者の意向や視点に配慮した効率的な整備が可能となることで、低減が図られるものと想定されます。</li> </ul>
31	体育館	<p>P22. 改修費等も踏まえて、総コストの比較が必要ではないのでしょうか？国庫補助金の補助率は如何ほどですか？地方債の充当率は如何ほどで、償還方法はどのようになっていますか？交付税措置はされるのですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画では、新体育館の施設整備、維持管理・運営に係る費用について、VFMの比較検証を行う中で、事業費算出の設定条件や考え方等と合わせて、P.20～21にお示ししています。</li> </ul>
32	体育館	<p>行政と事業者との費用面での役割分担が必要というのは、どう理解すればいいのですか？もしそうであれば、VFMの比較の中身が異なってくるのではないのでしょうか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者へのヒアリングにおいて、運営事業者から「公共の市民体育館は一般的に収益性が高い施設とは言えず、その施設の収益のみで運営費用を賄う独立採算とすることは困難であることから、行政側も運営費用の負担が必要」である旨の意見があり、その内容をお示ししています。</li> </ul>
33	体育館	<p>利用者アンケートの声は、どこに反映されているのですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートでは、現施設における機能や諸室の課題等をお聞きしたことを踏まえ、基本計画において、現時点で想定する施設機能、規模をお示ししています。</li> </ul>
34	体育館	<p>大枝公園と一体化する事で、大規模スポーツ施設として他市へのアピールも大いに期待できると考えます。            市民が健康や趣味として運動するためだけを目的とする体育館ならいいのですが、それだけに府下や全国レベルのイベントが多く開催されるようになる事が予想され、また計画ではそれを目標にも掲げておられます。            現体育館は駅前にある事から、大規模イベントでも多くが電車で来場していると思いますが、大枝公園は駅から多少離れているため、相当数の人が車で来場すると思われます。（このくらいの距離なら歩いてほしい事ないと思われますが、歩く事を嫌がるようになった現在、これまでも大枝公園で市全体のイベントを計画すると市内在住であっても「遠い」との苦情があり、ましてや他市住民は相当の学習をしない限り車で来場を考慮するのでは。）            このため、5000人の収容人員に対し80台の駐車場ではとても収容しきれず、この収容台数が逆に車で来場を呼び込むのではないかと危惧されます。（周辺には、あふれた車を受け入れられるような民間駐車場も少ない事から、駐車場を利用するには事前予約制とする等も検討願いたい。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画では、現体育館の駐車台数（16台）を上回る一定規模の駐車場（80～90台程度）及び駐輪場を整備するとともに、京阪守口市駅等からのアクセス手法について、開館時までに検討を進めることとしています。</li> </ul>

	項目	意見	本市の考え方
35	体育館	また駐輪場についても、今でさえ、イベント開催時は体育館前まで自転車があふれ、大枝公園です時も公園のいたる所に臨時駐輪場を設け、監視しておかないといけない状況にあり、相当の収容台数を設けないと周辺への駐輪がはびこると思えます。なお、交通量調査を実施されていますが、今春、ららぽーと・コストコが開業し、菊水通が中央環状線を抜ける事で、市外北西部から内環・菊水通を経由する交通量が大きく変化する(今でも国際学園前の右折車両が常時高瀬神社前まで続いている状態)事が想定されますので、再度の交通量調査と対策をお願いします。	・新体育館の整備と合わせて、駐車場や駐輪場も含め、運営のあり方を検討します。
36	体育館	加えて、イメージパースに臨時駐車場とあるがそれはどこを指すのか。周辺道路は現謎学路だがその対策は。また、車両導線と記載のある南側・東側道路の整備について、区画内はセットバックで解決するが、東側(元輔店街)と北側(東光通商店街)についてどう考えているのでしょうか。	・基本計画では、新体育館の北東側敷地内に臨時・関係者用駐車場を予定しています。また、駐車場への動線は、西側道路の出入のみを予定しています。
37	ホール	<p>当社は貴市の本計画に大きな関心を持っており、特に「新ホール」の運営につきましては、何らかの形でお手伝いできればと考えております。</p> <p>駅前再開発と民間収益施設とを組み合わせたグランドデザインの中で、今後30年を見据えた市民ニーズにお応えする「未来志向のホール」を実現することこそが、「にぎわい交流」を促進するための要と感じています。そのためには、広く市民の意見を集約するだけでなく、その先を見つめる先見性をもって計画を推進していく必要を感じています。</p> <p>私どもは、全国約50拠点の文化施設の運営管理に携わっており、日々新たな知見を積み重ねています。この知見を活かして、「今」はもちろん「未来」お客様の満足度を極大化するための取組みにチャレンジしたく考えております。</p> <p>具体的な取組みの例として、以下のような視点が考えられます。</p> <p>1) アートなまちのアートなくらしの実現</p> <p>生活文化や食文化も含めた大きな意味でのアートが日常の暮らしに溶け込んでいることが大切。アーティストやその卵、愛好家が身近な場所で創造活動を展開し、市民がいつでも触れることができる環境として整備する。</p> <p>2) 超「多目的」ホールを目指す</p> <p>専門ホールではない単なる多目的ホールは、無目的ホールであるとも言われる。であるならば、本来のホール目的(舞台パフォーマンス)外でも利用できる「超多目的ホール」を目指す方向もありではないか。</p> <p>3) 新たな音楽ホール</p> <p>クラシックだけが音楽ではない。ライブハウスやクラブのような電気音楽にも対応するホールも音楽ホールであり、そのニーズは高い。</p> <p>4) 居場所を超えた、交流を生み出す場としての「フォースプレース」を目指す</p> <p>自宅や職場・学校以外に憩える居場所を「サードプレース」というのなら、そこで新たな交流、人とのつながりが生まれる場所、「フォースプレース」を目指し、そのための仕掛けを考える。</p> <p>以上のような視点で、多彩なホールの有様を追求したいと考えます。</p>	・新ホールの整備に向けては着工時期までに一定の時間があることから、まずは、京阪守口市駅南側の今後の社会経済情勢の変化や周辺地権者の土地利用の意向等も踏まえ、新ホール建設を前提としたグランドデザインを検討しつつ、頂戴したご意見も参考に、新ホールの施設規模や併設機能等の詳細について、検討を進めます。
38	ホール	「具体的な事業化への着手までに、早くとも5年以上の時間が見込まれます。」との記載があるように、社会情勢の変化や周辺地権者等の意見集約の下でしっかりとした計画を立案されることを希望致します。	・ありがとうございます。貴重なご意見として承らせていただきます。
39	ホール	<p>今後の検討次第と存じますが、面積条件から1つのフロアに複数の機能を持たせる事はなかなか難しいと考えます。従って以下の点が課題になると推察します。各施設機能の優先順位が重複する事項となりますので、順位をしっかりと定めた計画立案をお願いしたく存じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小ホールが最上階という配置になっておりますが、構造的に大空間の上に諸室を配置することはコスト面で非常に不利になると推察します。</li> <li>・大ホールの資材搬入出は1階レベルが最も有利です。従いまして、大ホールの舞台は1階に設定されるのが運用的に良い配置であると思われます。</li> <li>且つ、来場者は駅からデッキを経由して2階レベルから入場しますので、ちょうどホール客席入口部分に位置するという点からしても有益と考えます。</li> <li>・図書・メディアスペース・会議室支援室の機能と、民間商業施設、小ホールの配置バランスが非常に難しいと推察します。</li> </ul> <p>従って、面積要件に応じた機能に集約する必要があると思われます。</p> <p>(全てを満たすと、全てが中途半端な規模になるのではないのでしょうか?)</p>	・新ホールの整備に向けては着工時期までに一定の時間があることから、まずは、京阪守口市駅南側の今後の社会経済情勢の変化や周辺地権者の土地利用の意向等も踏まえ、新ホール建設を前提としたグランドデザインを検討しつつ、頂戴したご意見も参考に、新ホールの施設規模や併設機能等の詳細について、検討を進めます。

	項目	意見	本市の考え方
40	ホール	・事業スケジュールについて、現段階での想定スケジュールとお見受けします。現在、資材調達にかなり時間を要する状況です。設計・建設で約2.5年を見込んでおられますが、3.5年以上(設計1年+施工2.5年以上)かかるものと思われます。今後の詳細検討にあたっては、ご考慮頂きたく存じます。	・貴重なご意見として承らせていただきます。 なお、事業スケジュールについては、基本計画では、令和11年度から約3年での設計及び建設を見込み、令和13年度末の新ホール竣工を予定しています。
41	ホール	駅前開発については、道路付からの見直しを行って一体感のある駅前広場としてほしい。また、道路とデッキが動線を分離させているため、一体感のある総合施設を作り、雨に濡れないコミュニケーション広場づくりや開放感のある市民の窓口づくりをしていくのは、いかがでしょうか	・新ホールの整備に向けては着工時期までに一定の時間があることから、まずは、京阪守口市駅南側の今後の社会経済情勢の変化や周辺地権者の土地利用の意向等も踏まえ、新ホール建設を前提としたランドデザインを検討します。
42	ホール	使用年数(耐用年数)は何年ですか? 守口市駅前のシンボリック建物として100年持続する建物を望みます。具体的な事業化への着手までに早くとも5年以上の時間が見込まれるとのことですが、社会経済の動向が大きく変化しても基本的に変わらず、市民に求められ続ける施設に図書館があります。公共施設のなかで最も人が集まる施設ともいわれている図書館を新ホールの2階部分に整備すれば、ホールとともに守口市駅前の魅力を大きく高めるでしょう。現在図書館の立地する大日都市核に対して守口市核にも図書館を設置することで、守口市がバランスのとれた成熟した都市であることを印象づけることにもなります。ご検討ください。	・鉄筋コンクリート造の場合、法定耐用年数は47年となっており、長く、安心して利用できる施設を目指します。 ・新ホールの整備に向けては着工時期までに一定の時間があることから、頂戴したご意見も参考に、今後、新ホールの施設規模や併設機能等の詳細について、検討を進めます。
43	ホール	「守口市にぎわい交流施設整備基本計画(案)」において、新ホールに図書・メディアスペースの設置が明記されました。これを歓迎しておりますが、このスペースを、守口市立図書館の分館として位置付けるよう要望いたします。 計画では新ホールの建設には具体的な事業化への着手までに5年以上の時間が見込まれるとありますが、その間に現在の市立図書館と文化センター内にある図書室との効果的・効率的な運営体制を整備し、新ホールでの充実したサービス開始につなげることが最適であると考えます。 現在文化センター内にある図書室は京阪守口市駅前という恵まれた立地にあり、市民に利用されていますが、残念ながら必ずしも十分なサービスを提供できているとは思えません。その大きな理由は、図書館として設置されていないことにあると考えます。市立図書館の分館となれば、今ある設備やスペース、人的資産、図書を最大限活かしたサービスが可能になります。市立図書館との一体的運営により、無駄を省いた運営や図書の購入が実現します。市立図書館が遠いため利用しづらかった市の中部・南部エリアの高齢者や子どもたちも気軽に図書館の魅力に触れることができます。図書館分館の設置は、限られた市の予算を最大限に活かし、財政負担をかけずに図書サービスのレベルを上げ、住民福祉の増進や定住人口・交流人口の増加、児童・生徒の学力向上、ビジネスチャンスにつながるのです。 新ホールが建設されるまたとない機会に、市立図書館の分館を設置することを切に要望いたします。	・新ホールの整備に向けては着工時期までに一定の時間があることから、頂戴したご意見も参考に、今後、新ホールの施設規模や併設機能等の詳細について、検討を進めます。
44	ホール	P2. 新たなにぎわいを創出する施設とあります。京阪百貨店の客数が落ちているような状況が見られますが、商業系の施設の設置は大丈夫でしょうか?百貨店との競合は大丈夫でしょうか?調整はどのように考えておられますか? P3. 新ホールや文化センターについては、考えるとすれば一体的に考えることが大事だと思います。	・新ホールの整備に向けては着工時期までに一定の時間があることから、まずは、京阪守口市駅南側の今後の社会経済情勢の変化や周辺地権者の土地利用の意向等も踏まえ、新ホール建設を前提としたランドデザインを検討しつつ、新ホールの施設規模や併設機能等の詳細について、検討を進めます。
45	ホール	P29. 施設計画「③ホールだけではなく多様な市民活動が行われる施設整備」で図書と触れ合うことができるスペースとあります。ムーブ21の図書室が、図書館法に基づく図書館になったのを契機にここも正式に図書館としたらどうでしょうか?分館でも構いませんが、図書館法に基づく施設にはならないのでしょうか?	・新ホールの整備に向けては着工時期までに一定の時間があることから、頂戴したご意見も参考に、今後、新ホールの施設規模や併設機能等の詳細について、検討を進めます。
46	ホール	施設計画「④民間商業スペースも併設した施設整備」とありますが、京阪百貨店との競合や調整という問題点があると思えます。どうお考えですか?	・新ホールの整備に向けては着工時期までに一定の時間があることから、まずは、京阪守口市駅南側の今後の社会経済情勢の変化や周辺地権者の土地利用の意向等も踏まえ、新ホール建設を前提としたランドデザインを検討します。
47	ホール	P30. 大ホールについては、フルオーケストラが入る舞台を目安としていますが、幅広い利用ができるのはいいことですが、年間どの程度の利用を見込んでおられますか?	・新ホールの整備に向けては着工時期までに一定の時間があることから、今後、新ホールの施設規模や併設機能等の詳細について、検討を進めます。
48	ホール	P31. 民間商業施設をIFに配置予定されていますが、京阪百貨店との調整はできているのですか?近隣の商店との調整はできているのですか?	・新ホールの整備に向けては着工時期までに一定の時間があることから、まずは、京阪守口市駅南側の今後の社会経済情勢の変化や周辺地権者の土地利用の意向等も踏まえ、新ホール建設を前提としたランドデザインを検討します。
49	ホール	にぎわい交流施設。60代の自分自身は、本や公民館での講座や家庭教育など、子育て中に近隣での広くうすい繋がりに助けられました。社会教育が、学校や家庭をつなぐ大切なものだと考えています。「図書館」があるだけでは、人は繋がっていかない。そこに、知識と経験を持ったコーディネーターできる人材が必要と考えます。そして、情報が押し寄せる今、基本となる書物などでの学びの選択が要ると感じています。本と人と。発信や交流ができる施設であってほしいです。	・新ホールの整備に向けては着工時期までに一定の時間があることから、頂戴したご意見も参考に、今後、新ホールの施設規模や併設機能等の詳細について、検討を進めます。